

2023年度 読谷高等学校 地理Bシラバス

地理B (後半)	単位数	2単位
	学科・学年・学級	普通科3年1組～8組

1. 学習の到達目標等

学習の到達目標	<ol style="list-style-type: none">1. 自然環境、資源・産業、都市・村落、生活文化等を通して現代世界の特色を探る。2. 現代の世界を地域（市町村規模、国家規模、州・大陸規模）ごとに学ぶ。3. 現代世界の諸課題（国家間、日本の近隣諸国、環境・エネルギー問題、人口・食料問題、居住・都市問題、民族・領土問題）を理解する。4. 地理という学習（教科）が世界を捉えるうえで重要であることを理解するとともに、世界の諸問題に対して考え、自分の意見を言える力を身につける。
使用教科書 副教材等	<ul style="list-style-type: none">・帝国書院『新詳地理B』・地図帳「新詳高等地図」（帝国書院）・『新詳地理資料 COMPLETE』（帝国書院）

2. 教材

教科書『新詳地理B』初訂版（帝国書院）

地図帳「新詳高等地図」（帝国書院）

『新詳地理資料 COMPLETE』（帝国書院）

3. 授業方法及び形態

一斉講義やペアワークが中心となる。基本事項をパワーポイントや板書、プリント等を通してまとめたり、地図やグラフ等の作成を実際に行うことによって理解を図る。

科目の性格上、時事問題や国際問題等との関連が深いので、該当する単元では新聞記事やテレビ放送の視聴などを積極的に取り入れる。

4. 留意点等

○ 授業における注意点

- a. 欠課・遅刻はしない。
- b. 毎時間、教科書・資料集・地図帳・ファイルを持ってくること。
- c. 提出物がある場合には、しっかりと出すこと。
- d. 発言や先生との応答等、授業に積極的に参加すること。
- e. 授業に関係のないものは授業中に出さない、使わない。

f. 予習・復習について

○ 予習：教科書を中心に授業を進めていきます。予習として教科書をよく読んで授業に臨んで下さい。分からない語句などをチェックしておいてください。

○ 復習：その日のうちに復習することを勧めます。独自のノートを作ったり、授業でわからないところを調べてみたりするだけでも、知識の定着度が全く異なってきます。

5. 評価の観点及び評価方法

評価の観点			
関心・意欲・態度	思考・判断	表現・処理	知識・理解
現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	現代世界の地理的事象から課題を見だし、それを系統地理的、地誌的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて公正に判断する。	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択、活用することを通して現代世界の地理的事象を追求する技能を身につけるとともに、追求した過程や結果を適切に表現する	現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄や追求の方法を理解し、その知識を身につけている。
評価方法	評価方法	評価方法	評価方法
出席状況、授業参加、課題への取組と提出、ノート・プリントの提出などで評価	授業での発言やその考え方、定期考査、課題やノート・プリントなどで評価	授業での発言や板書、定期考査、課題やノート・プリント、発表学習などで評価	授業での発言や定期考査、課題やノート・プリント、発表学習などで評価

上記の評価の観点を踏まえ次のような配分で総合評価を行う。

知識・理解、表現・処理、思考・判断	関心・意欲・態度	知識・理解、表現・処理 思考・判断
定期テスト	出席状況、授業態度、取組 意欲ノート・宿題等の提出	発表、ノートや提出物の内容
80%～70%	20%～30%	